

＜1. 現状と課題＞

- 市民の信頼や理解を得ながら行政運営を行うためには、積極的に情報を提供するとともに、市民の声を的確に捉え、市政に活かしていくことが必要です。
- 本市には、商業・観光施設や歴史的・文化的遺産、特産品など豊富な地域資源があることから、更なる地域資源の活用とともに、魅力の発信が必要です。

【広報・広聴機能の充実】

- 本市では、広報媒体の一つとして「広報ふなばし」を発行しており、新聞折り込みや個別ポスティング、公共施設や主要駅をはじめとする施設等で配布しています。個別ポスティングによる配布数は、増加しているものの、広報紙を折り込んでいる新聞購読者数は減少しているため、全体の配布数は減少しています。
- 広報紙のほかにも、市ホームページや SNS、デジタルサイネージなど多様な媒体を通じて情報を発信していますが、今後も社会情勢の変化とともに登場する新たな情報発信ツールを活用していくことが必要です。
- 本市では、マスメディアへのリリース配信を積極的に実施しており、令和2(2020)年度は、365 件のリリース配信を行い、1,342 件のメディアへの露出がありました。リリース配信件数に対して、メディアへの露出件数が多くなっていることから、今後も効果的なマスメディアへのリリース配信やプレスイベントの活用が求められます。
- 市民の声を収集する市政ポストや電子ポストは、令和2(2020)年度市政ポストに 312 件、電子ポストに 869 件のご意見があり、多くの市民が市政への意見を行う機会として利用されています。また、市民意識調査や市政モニター制度を活用し、市民ニーズの把握に努めています。

【魅力発信の充実】

- 本市には、市民のみならず、多くの人に親しまれ、利用されている「ふなばしアンデルセン公園」のほか、文化、スポーツ、産業、自然環境など、魅力的な地域資源があります。このような地域資源をさらに活かすため、今後も関係機関等と連携しながら、本市の魅力の発信を推進していく必要があります。
- 「ふなばしロケーションズ ふなロケ」は、船橋市内において、映画やドラマ、CM、プロモーションビデオなどの撮影制作に関わる要望に応える窓口で、市内の各ロケーション紹介をはじめ、撮影が円滑に進むようサポートを行っています。当ガイドを利用した本市への撮影問い合わせ件数は、平成 27(2015)年度の 217 件から令和2(2020)年度の 373 件へと増加傾向にあることから、本市の魅力を発信するための情報露出や PR をさらに推進していく必要があります。
- 訪日外国人観光客数は、令和元(2019)年に 3,188 万人と7年連続で増加していましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行に伴い、令和2(2020)年は 412 万人と大幅に減少しました。今後の、国際的な観光動向は不透明ですが、インバウンド^(注1)需要の回復を見据えた取り組みを推進する必要があります。

＜2. 施策の方向＞

施策1 広報・広聴機能の充実

広く多くの市民へ市政情報を届けるため、多様な媒体を活用して情報提供の充実を図ります。
複雑・多様化する市民ニーズを的確に把握し、市民ニーズに対応した行政運営を行うため、広聴機能の充実を図ります。

当施策における主な取り組み

- ◆ 多様な媒体を活用した市政情報の発信
- ◆ 市民ニーズを幅広く把握する機会の充実

施策2 魅力発信の充実

本市の地域資源が活かされ、まちが活性化されるよう、観光スポットやロケ地の紹介、誘客を図るほか、新たな魅力の発掘と発信に取り組みます。

当施策における主な取り組み

- ◆ 地域資源を活かした観光プロモーションの推進
- ◆ インバウンド対応の推進